

帯広市長 上野 庸介 様

帯広市 市民提案型協働のまちづくり支援事業 【Mottoおび広がるプロジェクト】

令和 9 年度 実施事業申込書

令和 8 年 〇 月 〇 日

1 申請区分

☐ スタートアップ部門	☒ ステップアップ部門
------------------------------------	---

2 団体

団体名	ふりがな 〇〇〇〇くらぶ	代表者	ふりがな 〇〇〇 〇〇〇〇
	〇〇〇〇クラブ		代表 〇〇 〇〇 代表者の役職名も記載してください。
担当者	ふりがな △△ △△	連絡先	携 帯 999-9999-9999
	△△ △△		メー ル 団体、個人どちらでも構いません。 ××××××@×××
	〒 999-9999 市より案内等を送付する際の住所を記載してください。 帯広市〇条〇丁目〇〇番地		
設立	令和 6 年 10 月	会員数	20 名 (うち市内在住、在勤、在学者 15 名)
会費	☒ あり (500 円 / 年 ・ 月 ・ その他) 徴収時期に〇をしてください。 ☐ なし		
主な 構成員	☒ 市内の方には 〇〇 〇〇 市の方には 〇〇 〇〇	☒ 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇
	☒ 〇〇 〇〇	☐ ☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆
会の設置目的 活動実績	帯広市の市民団体が幅広く活動や交流をしていくことでMotto地域が活性化していくことを目指し、団体を設立しました。 どのような目的で団体を設立し、何を目指しているのかを記載してください。 市民活動に取り組む方々の悩みや課題を解決するためのサポートとして、月1回のミーティングやSNSを活用した相談対応、行政機関への情報収集や意見交換、市民活動に関わる講演会の開催などに取り組みました。 事業の継続から、新聞等で取り上げていただくこともあり(令和〇年〇月〇日△△新聞)、少しずつ活動が広がってきていることを実感しました。 これまでの活動状況があれば記載してください。		

【誓約事項】

申請者は、帯広市暴力団排除条例第2条第1号に規定する暴力団、同条第2号に規定する暴力団員又は同条第3号に規定する暴力団関係事業者ではありません。

申請者がこれらの者に該当することが判明した場合には、補助金等の交付の決定の全部又は一部が取り消されても、何ら異議の申立てを行いません。

また、帯広市が上記内容の確認のため他の官公署に照会を行うことについて承諾します。

☒ 以上、確認し承諾しました。

上記内容をご確認の上、☒をしてください。

3 提案事業

提案事業名	Mottoおびひろの市民活動を盛り上げるプロジェクト		
事業目的	帯広市で市民活動を実施する際に、他団体の情報を得るのが難しい現状があるため、誰でも簡単に情報が手に入る環境を構築し、市民活動に取り組む団体のサポートやアドバイスを通して、地域のさらなる発展を目指します。 現状や課題を明確にし、どのようなまちを目指していくかを記載してください。		
事業内容	○現在、帯広市HPで様々な団体を掲載している「市民協働アクション」というものがあるため、市と協働してHPの充実を図る。 ・既存の掲載団体へ再調査を実施し、内容の更新とボリュームアップ ・新たな掲載団体の発掘のため、団体SNSでの情報発信 イベント実施の際は、実施回数、実施時期、参加人数などを記載してください。 ○市民協働サミットの開催（年1回、秋頃開催、会場はとかちプラザ、50人参加を想定） ・「市民協働アクション」に掲載している団体を招き、日ごろの活動の課題や新たな取り組みについての意見交換の場を設けます。 ・◇◇大学教授△△様を講師として招き、「団体の連携」「団体の在り方」といったテーマの講演をいただき、各団体の今後の活動へのモチベーションアップを図ります。 外部講師を招く場合は、講師の経歴等がわかる資料を添付してください。		
	ア	①先駆独創性	現在、市民活動に取り組んでいる団体はたくさんありますが、団体をサポートしていくための団体はなく、まちづくりの輪が広がっていくために必要な活動です。 団体の特性を活かした、これまでにない取り組みであることを記載してください。
	ピ	②協働波及性	市の担当者の方に助言をいただきながら進めていく活動に加え、サミットの開催は十勝地域の市民団体も招いていくため、地域にまちづくりが広がっていく事業です。 市や他団体との協働から、地域にどのような効果が期待できるかを記載してください。
	ールポイン	③発展継続性	サミットには市民団体のほかに、企業なども招待していくため、活動に賛同してくれる企業からの協賛を募っていき、市民団体のサポートが継続できるようにします。 活動を継続していくための資金面の工夫などを記載してください。

4 収支予算

	項 目	内 容	予算額（円）
収 入	帯広市補助金	Mottoおび広がるプロジェクト補助金	200,000
	会費	年会費を充当	10,000
	自己資金	上記で不足する部分	10,000
			220,000
1年間の活動で必要になる経費を記載します。採択された場合、申込書に記載の項目での補助金交付となりますので、十分検討した上で記載してください。			
	項 目	内 容	予算額（円）
支 出	消耗品費	事務用品代	30,000
	印刷費	パンフレット及び周知チラシの印刷経費	50,000
	通信費	案内に使用する郵便料金	20,000
	施設使用料	とかちプラザ（備品借用料含む）	20,000
	報償費	有識者への謝礼（交通費・宿泊費込）	40,000
	保険料	ボランティア保険	5,000
	使用料	公式SNSアカウント取得費用	55,000
	合		220,000
収入と支出の合計は同額にしてください。			